

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第19回>

#### 「世界の教育」

みなさまこんにちはヽ(´▽`)/

コーチング研修会社ドリームフィールド阿部侑生ことユッキーです。

今日は「世界の教育」という、ちょっとアカデミックな内容です。

世界の中でも、学力、幸福度がともに高いことで注目されている

オランダの初等教育のお話をさせていただきます。

なぜかという、私の友人であるビジネスコーチ石川尚子さん(株式会社ゆめかな 代表取締役)が

「オランダの教育にはコーチングが根付いている！！」と絶賛しているのです。

石川さんがオランダで教育の現場を目の当たりにした際の子供たちの話を少し紹介させていただきますね。

「オランダでは、コーチングの文化が深く浸透しています。オランダの小学生は幼いうちから、自分で考え、自分で学ぶ経験を繰り返すことで生きる力を育てていきます。子どもたちは自分で、勉強する課題を決めて取り組み、自己評価する力をつけていきます。中には時間割がない学校や、授業時間を知らせるベルもない、成績をつけない学校もあります。教師は子どもの持っている思考や計画性、責任感を信頼し、それを引き出すような関わり方をしています。こうした環境の中で子どもたちは他人の評価を気にせず「自分軸」の生き方ができるようになっていくのです」

私は石川さんのオランダの話聞いて「日本と正反対だな～」と思いました。

私たち大人を含めた日本人は、他人の評価を気にして悩んでしまったり、

周囲の意見で不安に駆られることがありますよね。

誰かと自分を比較したり、他人の目を気にしすぎたり。

それがオランダの子どもたちにはないのです。まさに「自分軸」の生き方です。

人に何を言われようが関係ない、自分の好きなことをやりたいから勉強する、

というような生き方です。

日本の子どもたちは、自分が何をしたいのかわからない、

何のために勉強するのかもわからないまま「勉強しなさい」と言われて、

ただやらされ感でやっている。

学生時代はまだいいかもしれませんが、これを続けていると大人になってからが大変です。

なぜなら日本の社会は、大人の言いなりになる子がいい子、という風潮がありますが、

社会に出たとたん、自分で考えて行動する人、つまり「自立している人」がいい人になるからです。

そのギャップに戸惑っている新社会人がとても多いような気がします。

そのためにも子どもが本来持っている力を引き出すコーチングを実践してみませんか？

ここでちょっと宣伝ですヽ(´▽`)／

7月24日(日)に仙台で、石川尚子コーチによる「コーチングがベースにあるオランダの教育・社会とは～自己肯定感と生きる力を引き出す関わり～」という講演会を行われます。

ここには書ききれませんが、オランダの教育、すごいです！！目からウロコが落ちます。

興味のある方、ぜひドリームフィールドまでお問い合わせください。

ほかの国の教育事情を知ると、悩みを解決する参考になることが見えてくるかもしれません。

ではまた来月、お目にかかりましょう♪

この季節は気分がスッキリしないこともあります、

そういう時はお花からパワーをもらおうといいみたいですよべ(@^—^@)ノ

#### \*プロフィール\*

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財)生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH!バンドス」(95~04)等、レギュラー出演、その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等をテーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。